

理由はわからないけれど、
うまくいかない
ことが多い

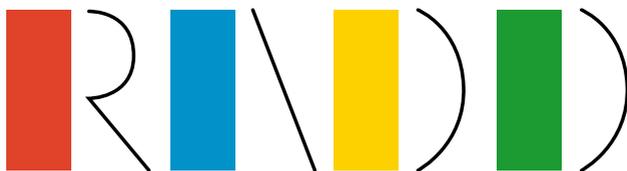


怠けている
わけではないのに…



などと悩んでいるみなさんへ

個別の心理・教育的 アセスメントのご案内



筑波大学では、多様な学生が
自身の能力や特性をよりよく理解し、
社会の発展に広く貢献できる
人材の育成を目指しています

筑波大学

ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター(DACセンター)

こんなことで困っていませんか？

スマートフォンや
財布をしばしば
失くしてしまう

やるべきことを
つつい先延ばしに
してしまう

日々の
生活リズムが
不規則に
なってしまう



やるべきことが
重なると、どれから
手を付けていいか
わからなく
なってしまう

人と
コミュニケーションを
とることに負担を
感じてしまう

など

このような困りごとは、**自分自身の発達上の特性**と関連していることがあります。
アセスメントを通して、そのような特性と困りごとの関連について考えてみましょう。

アセスメントとは？

DACセンターで、**専門の先生（アセッサー）**による**アセスメント**を受けることができます。

アセスメントでは、質問紙に答えたり、用具を用いた検査課題に取り組んだりします。
アセスメントでは、以下のことが分かります。

認知能力

発達障害特性

知的能力

職業適性

※複数を知ることでもできますし、自分の知りたい能力だけ知ることでもできます。
どの検査を実施するかは、アセッサーと相談して決めます。

アセスメントの流れ

アセスメントを実施するためには下記の3回の面談が必要です。

- 1 初回面談 30分～1時間程度
- 2 個別式検査 1時間30分～2時間程度
- 3 フィードバック面談 30分～1時間程度



時間には個人差があります。また、検査からフィードバック面談を実施するまでには、通常3週間～1ヶ月程度、結果をまとめるための時間が必要です。



アセスメント結果は各学生に個別で書面と口頭によりフィードバックします。結果を学生本人の許可なく所属の教職員等に伝えることは一切ありませんが、学生本人の同意があれば教職員等にアセスメント結果をお伝えすることも可能です。



アセスメントの希望者が多数の場合には、修学上に困難のある学生を優先し、すぐに受けられないこともありますので、ご了承ください。



このアセスメントは「医学的診断」ではありません。福祉サービスの利用等で発達障害の医学的診断を受けたい場合には、個別アセスメント後、医療機関を受診する形となります。



アセスメントを受けるには？

アセスメントを受けたい学生はDACセンター（アクセシビリティ）まで

メールでご連絡ください。

メールの内容（参考）

宛先: radd-info@un.tsukuba.ac.jp

件名: アセスメント希望

本文: (1) 氏名
(2) 所属
(3) 学籍番号
(4) 連絡先 (E-mail)
(5) アセスメントを希望する理由
(6) アセスメントを知ったきっかけ・経緯
(7) 現在困っていること

などを記入してください。



自分のことをより良く知るための
きっかけとして、ぜひご活用ください



筑波大学
University of Tsukuba

